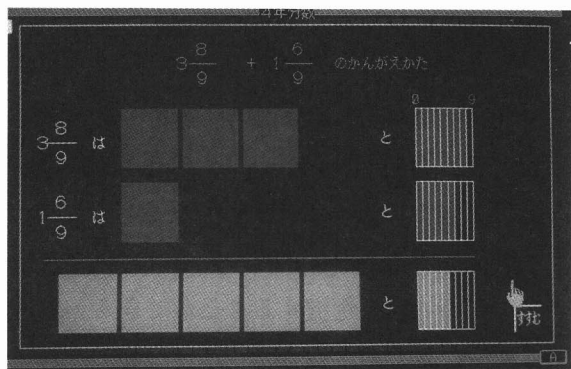


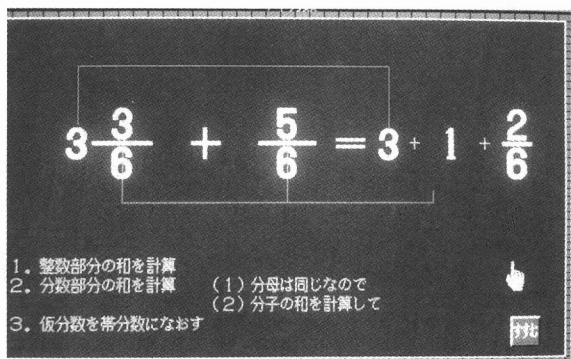
真分数と整数、帯分数と帯分数の問題がランダムに作成され、10問出題される。

答えが分からないときは、ヒント画面が2画面用意されていて、その問題の数字を使って、ヒントが表示される。一つのヒントは、分数の意味を理解させるために、【写真2】のように半具体物を通して、たし算をシミュレートしたものである。



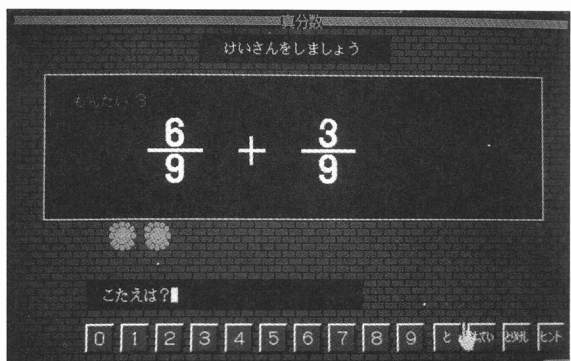
【写真2】

もう一方のヒントは、計算の手順を理解させるために、【写真3】のように計算の流れをシミュレートしたものである。分からなくなったら、ヒント画面を参考にドリル学習が展開できるようにした。



【写真3】

○コース3「わかりやすいもんだい」



【写真4】

同分母の真分数のくりあがりありのたし算のドリルである。

習熟度の内容から言うと、くりあがりの仕方が分からないために、計算ができていない児童を対象として構成されている。ドリル学習をしながら、【写真4】のようにくりあがりの仕方を再確認し、学習が展開できるようにした。

○コース4「みんなわかるもんだい」

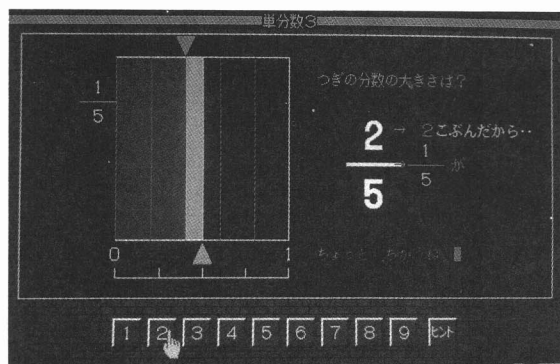
同分母の真分数のくりあがりなしのたし算のドリルである。単元の一つ初めの内容であり、どの児童にもできた喜びを味わわせるとともに、分数のたし算に慣れることを目的として設定した。

② つまずき補強コースの内容

単元内において、児童がつまずきやすい内容について、それを解消するためのドリル学習である。

○コース5「分数の大きさ」

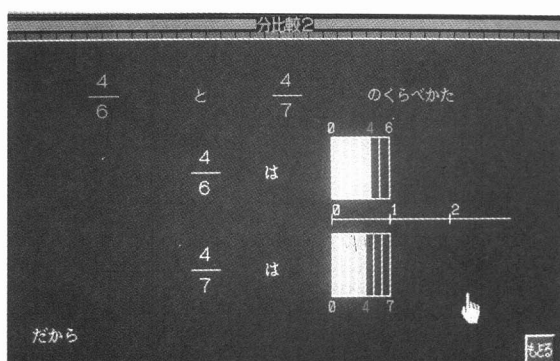
分数の概念(何等分した内の何個分)を分からせるための教育用ソフトウェアである。



【写真5】

○コース6「分数の大きさ比べ」

分数の大きさ比べの仕方を分からせるためのドリルである。



【写真6】